

松田麻美子の超健康革命 (Super Health Revolution)

SHR NEWSLETTER No.81 ニュースレター

[発行] ©超健康革命の会

[事務局] 東京都品川区大井1-23-7-4F

グスコー出版内 〒140-0014

(2019年4月号) Tel/Fax 03-3775-4503 (12:00~18:00)

SINCE 2002

<<http://natural-hygiene.org/>>

E-mail/shr-info@natural-hygiene.org

今回、「巻頭メッセージ」にご寄稿いただいた船瀬俊介 (ふなせ・しゅんすけ)氏は、20代の頃から「日本消費者連盟」の編集者としてさまざまな分野で活躍、現在もテレビや新聞からは見えてこない「真実＝報道されないタブー」を読者に伝えるべく、健筆を振るい続けている作家であり、ジャーナリストです。

笑いが絶えない講演同様、「船瀬塾」、飯能市の船瀬邸で行なわれる「船瀬塾合宿」も大好評で、全国から聴講

生が学びに訪れます。

健康のために「ワン・デイ・ファスティング」を推奨し、一方で『抗ガン剤で殺される』『効果がないどころか超有害！ワクチンの罠』『ガン検診は受けてはいけない!?』『医療大崩壊』など、衝撃的な内容の医療関連書籍で「隠された恥部」を発信し続けています。

船瀬氏についての詳細やアクセスは「船瀬俊介 公式ホームページ」で検索できます。

Message
from
SHR

わが「食」のバイブル、『チャイナ・スタディー』！

～悪魔に踊らされるヤツラを断罪する～ 船瀬俊介 (作家、ジャーナリスト)

●肉好きは8倍心臓マヒで死ぬ！

私は今、立て続けに「食事と健康に関する本」を執筆している。昨年10月に『肉好きは8倍心臓マヒで死ぬ』（共栄書房）を出版し、さらにもう1冊、4月初めに刊行が予定されているのが『牛乳のワナ』（ビジネス社）という本だ。

いずれのタイトルも、ズバリど真ん中。前者は「82の科学的エビデンス」を網羅している。肉好きは、肉を食べない人に比べ8倍もの人が心臓マヒで死に、大腸ガンで5倍、糖尿病で4倍死んでいる、こうした事実を科学的数値を挙げて書いているので、だれもが納得することだろう。

後者も「乳製品の有害性」を35項目にわたりリストアップ、すべて客観的な証拠を添えて書いたものだ。僭越ながら、おそらく、これだけ科学的根拠に基づいてまとめた書物は「世界初」ではないか、と自負している。

両者をまとめるにあたって、最大の手引きとなったのがコリン・キャンベル博士の著書『チャイナ・スタディー』（グスコー出版）だ。

執筆中に迷った時は、必ずページを繰って、その真偽を確認している。まさに、わが「座右の書」と言える。

●「肉を食え！」大合唱のヤカラ

ところが、出版界を見渡すと、一部の医者・研究者の中に「肉を食え！」の大合唱をくりかえしているヤカラがいる。

たとえば、溝口徹という医師など『がんになったら肉を食べなさい』（PHP研究所）なる仰天もののタイトル本を出版、一読してみると「タン

パク質は消化酵素で分解されるので動物性も植物性も関係ない」などと、小学生以下でしかない論法を展開している。

前述したように、肉食者は肉を食べない人の5倍も多く大腸ガンで死ぬ。ちなみに『チャイナ・スタディー』によれば、肉食中心のアメリカ男性の心臓マヒ死は中国男性の17倍、アメリカ女性の乳ガン死は中国女性の5倍である。

こうした科学的エビデンスを知っていれば「ガン患者に肉を食え！」などと勧められるわけがない。『がんになったら肉を食べなさい』などといった本は、間接的「殺人本」である。即刻、回収・廃刊すべきだ。

●肉食業界理事が書いたトンデモ本

さらに、タチの悪い本がある。柴田博（医学博士）なる人物が書いた『長寿の嘘』（ブックマン社）だ。

「卵は一日5個食べてもコレステロールは上がらない」という理由で、高齢者や病人に「たくさん食えろ！」と強要する。

「人類は本質的に肉食だ！」とぶちあげ、「さまざまな肉を食べよ」「動物タンパク質を十分にとれ」「牛乳は毎日飲め」「油脂を十分にとれ」「毎日3食食べよ」と、書きたい放題だ。

さらに「菜食主義者は早死にする」「肉を食べないと長生きできない」などと、暴論・妄論を書きまくっている。これは、溝口医師の本より、タチが悪い「殺人本」である。まさに、悪魔に魂を売り渡したとしか思えない。

以前、「日本ナチュラル・ハイジーン普及協会」